

いのちのことばに生きる

1. 聖書のことばはいのちのことば、イエスキリスト

I ヨハネ 1:1-2 初めからあったもの、私たちが聞いたもの、目で見えたもの、じっと見、また手でさわったもの、すなわち、いのちのことばについて、-- このいのちが現れ、私たちはそれを見たので、そのあかしをし、あなたがたにこの永遠のいのちを伝えます。すなわち、御父とともにあって、私たちに現された永遠のいのちです。--

マタイ 4:4 イエスは答えて言われた。『人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出る一つ一つのことばによる』と書いてある。』

2. 神のことばを受け取るために

1) 神のことばと御国のプロセスは人の肉の思いと全く違う (イザヤ 55:8-9)

II 列王記 5:9-14 こうして、ナアマンは馬と戦車をもって来て、エリシャの家の入口に立った。エリシャは、彼に使いをやって、言った。「ヨルダン川へ行って七たびあなたの身を洗いなさい。そうすれば、あなたのからだ元どおりになってきよくなります。」しかしナアマンは怒って去り、そして言った。「何ということだ。私は彼がきつと出て来て、立ち、彼の神、【主】の名を呼んで、この患部の上で彼の手を動かし、このツアラアトに冒された者を直してくれると思っていたのに。ダマスコの川、アマナヤパルパルは、イスラエルのすべての川にまっさっているではないか。これらの川で洗って、私がきよくなれないのだろうか。」こうして、彼は怒って帰途についた。そのとき、彼のしもべたちが近づいて彼に言った。「わが父よ。あの預言者が、もしも、むずかしいことをあなたに命じたとしたら、あなたはきつとそれをなされたではありませんか。ただ、彼はあなたに『身を洗って、きよくなりなさい』と言っただけではありませんか。」そこで、ナアマンは下って行き、神の人の言ったとおりに、ヨルダン川に七たび身を浸した。すると彼のからだ

は元どおりになって、幼子のからだのようになり、きよくなった。

※II 列王記 5:8 ...そうすれば、彼はイスラエルに預言者がいることを知るでしょう。

2) 神のことばは高慢を打ち砕き、神の榮譽に先立つ謙遜を与える (箴言 18:12)

I ペテロ 5:5-6 同じように、若い人たちよ。長老たちに従いなさい。みな互いに謙遜を身に着けなさい。神は高ぶる者に敵対し、へりくだる者に恵みを与えられるからです。ですから、あなたがたは、神の力強い御手の下にへりくだりなさい。神が、ちょうど良い時に、あなたがたを高くしてくださるためです。

ヘブル 11:6 信仰がなくては、神に喜ばれることはできません。神に近づく者は、神がおられることと、神を求める者には報いてくださる方であることを、信じなければならないのです。

ヘブル 12:10-11 ---霊の父は、私たちの益のため、私たちをご自分の聖さにあずからせようとして、懲らしめるのです。すべての懲らしめは、そのときは喜ばしいものではなく、かえって悲しく思われるものですが、後になると、これによって訓練された人々に平安な義の実を結ばせます。

3. 御霊の中に歩むことで神のことばを受け取ろう！

ローマ 8:4-9 それは、肉に従って歩まず、御霊に従って歩む私たちの中に、神のみことばが全うされるためなのです。肉に従う者は肉のこともっばら考えますが、御霊に従う者は御霊に属することをひたすら考えます。肉の思いは死であり、御霊による思いは、いのちと平安です。というのは、肉の思いは神に対して反抗するものだからです。それは神の律法に服従しません。いや、服従できないのです。肉にある者は神を喜ばせることができません。けれども、もし神の御霊があなたがたのうちに住んでおられるなら、あなたがたは肉の中にはなく、御霊の中にいるのです。